

自動蓄圧スプレー 使用方法

まずはじめに、減圧弁の空気圧が 0.1~0.2Mpa に設定してあることを確認して下さい。



減圧弁上部のつまみで調整します。
+方向（時計回り）
-方向（反時計回り）

1、三方バルブを閉じてください（図1 CLOSE方向）

→タンク内の空気が抜けます。

図1

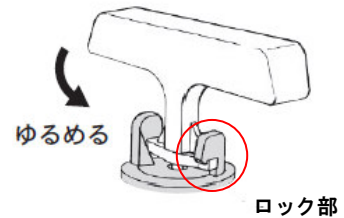


2、タンクのハンドルをロックさせて左に回しポンプキャップを緩めて下さい（図2）

注意

圧力が残っている状態で、タンクのハンドルを外すと顔などに液がかかるおそれがあります。
必ず三方バルブを閉じて（※タンク内の空気が抜ける）から行ってください。

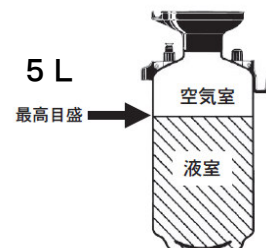
図2



3、液をタンクに入れて下さい。

- ・タンクには5リットル以上入れないで下さい。（※図3）
液が三方バルブや安全弁から噴出することがあります。

図3



4、タンクのハンドルを右に回し閉めてください

5、三方バルブを開けてください（※図4 OPEN方向）

→タンク内に空気が入ります。

図4



6、噴霧準備完了

使用中、使用後のお手入れ

1、噴霧できない

原因

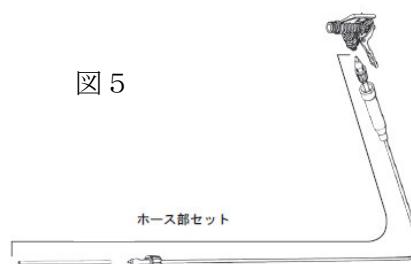
- ①噴霧ノズル先端の掃除
- ②タンク内の吸い込みホース先端のごみ掃除



2、握り手部分からの液漏れ

対処① ホース部セットの交換 (図5)

図5



対処② 一度ハンドル部とホースを取り外し、ホース側の接続部分にシールテープを巻いてから、再度接続する (図6)

図6



注意

- ・減圧弁の故障などでタンクに 0.5Mpa 以上の圧力がかかると、タンク上部にある安全弁が開き空気が抜けます。この時安全弁のノブを絶対に触らないで下さい。破裂する恐れがあります。



使用できない主な薬液

- ・酸性及びアルカリ性の強い薬品・クレゾール・クレオソート・シロアリ防除薬液・引火しやすい薬液
- ・シンナーなど溶解力の強い溶剤・塗料・洗剤・お湯・及びクリーナー・高濃度の農薬・粘性のある液体等

エイエムジー株式会社

■京都本部 京都府向日市鷄冠井町十相33-11 TEL:075-933-7171 FAX:075-933-9456

■東京支社 東京都品川区大井 7-30-6 TEL:03-3771-1121 FAX:03-3771-0006